

## スチュワードシップ活動の概況

いちよしアセットマネジメントは、日本株運用において顧客・受益者の中長期的リターン向上を目的としたボトムアップリサーチを投資運用プロセスの中核と位置づけています。ボトムアップリサーチプロセスにおいて「企業との真摯な対話」、「適切な議決権行使」を通じたスチュワードシップ責任を果たし、投資先企業の価値向上に寄与することで顧客・受益者の中長期的投資リターンの拡大を図ってまいります。

### 1. エンゲージメント（企業との建設的な対話）の主な視点

いちよしアセットマネジメントでは企業価値を中長期にわたる付加価値向上の観点から判断するため、エンゲージメントは概ね以下の視点に基づいて行っています。

#### 事業戦略

- ☆経営理念・ビジョン・経営戦略が中長期の持続的な成長、企業価値向上につながっているか
- ☆持続的な成長、企業価値を向上させる事業ポートフォリオになっているか
- ☆事業を取り巻く経営環境や事業リスクを的確に把握し、果敢な経営判断が行われているか
- ☆ガバナンスや社会貢献、環境問題など、いわゆるESG要因を事業戦略に取り込んでいるか

#### 財務戦略

- ☆資本政策が経営戦略遂行にあたって適切なものになっているか
- ☆中長期的に株主還元が適正に行われているか

#### IR戦略

- ☆タイムリーで充実した情報提供および情報開示方法の改善が十分に行われているか
- ☆経営者の思想（ビジョン・戦略等）が効果的に活かされているか

#### ガバナンス・リスク管理

- ☆取締役や監査役によるガバナンスが適正に機能する状況にあるか
- ☆社会、環境問題、不法行為、反社会的行為を含む不祥事等のリスクに対する防止体制が十分か

なお、投資先企業との対話において未公表の重要事実を受領することは企図しておらず、万一受領した場合には、当該企業の株式の売買を停止し、インサイダー取引規制に抵触することを防止しています。

## 2. 企業との対話の概況

いちよしアセットマネジメントは、投資先企業とのエンゲージメント（建設的な対話）に努めた結果、2017年7月以降、本年6月末までに、主として「経営成績」、「経営計画や戦略」、「経営環境・リスク」、「業界動向」等のテーマについてそれぞれ延べ220社を超える企業と対話を重ねました。その他にも「財務情報」「ガバナンス体制」に関する対話も積極的に行っております。

## 3. 議決権行使について

議決権行使については「議決権等行使に関する基本方針」に基づいて行っています。議決権行使結果については、毎年1回「5月及び6月開催の株主総会における行使指図の結果」及び四半期ごとに「議決権行使議案の個別開示」を作成し、ホームページの「議決権等行使に関する基本方針 III.議決権の行使結果」に公表していますので、そちらをご参照ください。

以上